

## 「笑顔の輪プロジェクト」

### 東北被災地ボランティアバスツアー報告

実施日程 2012年9月21日（金）～24日（月）

場 所 東松島市奥松島宮戸島 宮城県石巻市

参加者 福井県民33名 石川県民1名 合計34名

今回のボランティア活動は、日中は宮城県の東松島市奥松島宮戸島の浜を中心とした海岸清掃活動、植栽・植樹の活動、夜は、石巻市内の仮設住宅での交流を行いました。

メインの活動は、浜での瓦礫の撤去と、津波被害に遭った公園の整備で、学生達や他のボランティアチームと合同で行いました。この地区の活動は22日と23日の二日間でしたが、少しは浜を綺麗にできたでしょうか。今回の活動中に、遺骨らしき骨も発見できました。それを見つけたのは、石巻出身で福井に住むボランティアメンバーでした。遺族のもとに届くことを願っています。

また、津波に呑み込まれた公園では、土や肥料を入れ整備し直しお花や木を植えることができました。二日目は、少し肌寒い雨の中の作業でしたが、団結して活動できたのではないのでしょうか。そこには、福井県から頂いた「越前水仙」や以前の参加者から提供のあったドングリの苗も植えさせていただけました。福井県からのボランティア活動には、限界もありますが、現地のボランティアチームやNPOとの連携、また被災地の方々と交流をしていく中で、毎回感動と感謝そして、何よりつながりを持たせて頂けることに喜びを感じさせられます。まだまだ被災地の復興には時間とお金、人手が必要と感じさせられます。心の傷が癒えることはないと思いますが、笑顔と活気が戻っていていることを感じられます。私達も1年半活動を継続させて来ましたが、この経験を今後活かしていきたいと思っています。

今回も参加頂いた10代から70代まで男女34名が、自分のできる力の中で精一杯の力をかしてくれたことに感謝したいと思います。そして応援頂くみなさまに感謝しております。ほんとうにありがとうございました。





宮戸島の浜は、宮城県県民なら誰もが泳いだことがあると言われる綺麗な浜だったと伺いました。綺麗に見える砂浜の下にはいろんな物が埋まっています。



何キロも広がる浜も静まりかえっている様子でした。  
海水浴場が以前のように沢山の子どもや観光客が戻るように願いながら作業しました。

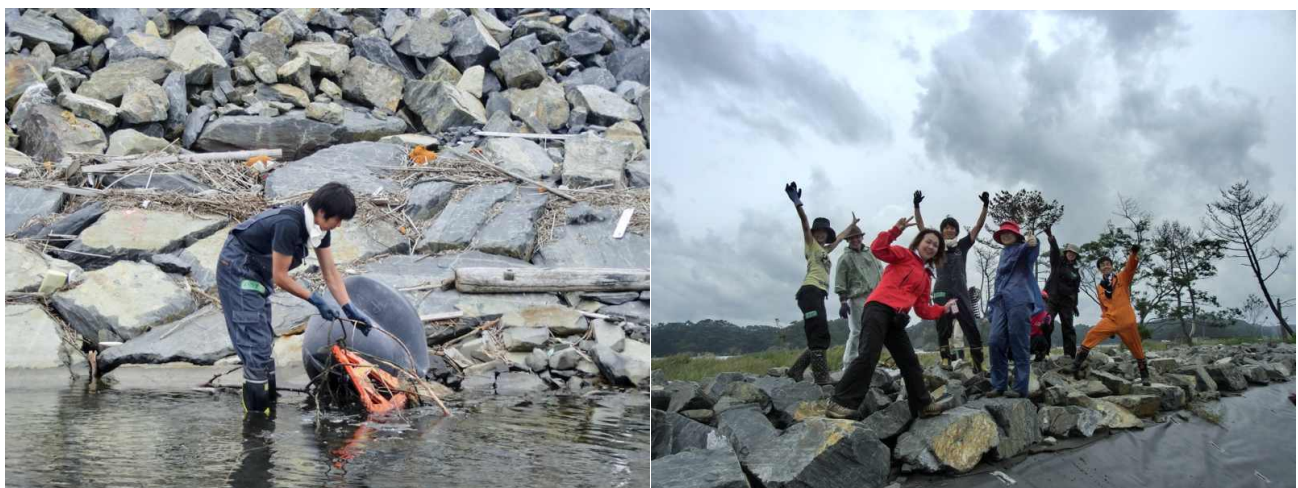
人工物のゴミがたまっている場所も多く、作業は難航しました。



海水がたまり真っ黒い水たまりが広がる場所も・・・



右写真：握手する左の方は、地元宮城県の実業家



作業は辛くても笑顔のあるコミュニケーションが大切ですね。

土は津波をかぶり塩害にもなっているため、土や肥料をしっかり入れました。



土木作業は男性陣が頑張りました。



草刈りを終えてからはお花や木を植えました。



お花は、人の心を癒やしてくれます。そして笑顔をもたらしてくれますね。



ドングリの苗や越前水仙も植えました。



福井から愛をこめてつくった公園にまたみんなで来ようと語り合いました。





帰路につく前に、石巻市内で支援活動する団体や津波の被害の大きかったエリアを視察



お店のオープンも増えてきて被災地も少しずつ活気を取り戻してきています。

2011年3月から定期的にこの地に足を運んでいます、来るたびに変化を実感します。

この1年半の間に延べ200名ほどの方と福井県から（石川も含む）宮城県に行きましたが、この活動に参加されたほとんどの方が、現地に行ったことで気づいたこと、感じたことがあると答えています。報道で知ることは、ほんの少しの部分だけです。画面の中から感じられることもあります、実際の現場を歩き、見て、聞いて感じ取ることが大切だと思います。費用も掛かりますが、こういった活動は、多くの団体や市や県が積極的に行って欲しいと思います。

私たちに、できることは小さなことですが、東北の震災が忘れられ、風化していくことを防ぎたいと思っています。今後とも皆様方のご支援をいただけますようお願い申し上げます。そして、未来に起こるかもしれない大災害に備えることも大切だと考えます。万が一、東南海での巨大地震が来た場合は、福井や北陸地区は重要な地区になると思います。未来を共に考えていきましょう。

災害支援チーム 未来ビレッジ JAPAN  
ふくい未来ビレッジ・ネットワーク

<http://fmvn.org/>